（別添１）

令和6年外国人雇用実態調査(事業所調査票)

政府統計
統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

秘
厚生労働省

◎ 本調査の結果は、今後の外国人雇用対策の検討の重要な情報となりますので、調査へのご協力をお願い申し上げます。
◎ この調査票に記入された事項については、統計以外の目的に使用したり、他に漏らしたりすることはありませんので、ありのままを記入してください。調査票の記入に当たっては、別添の記入要領を参照してください。
◎ 記入が終わった調査票は、同封の返信用封筒に入れ、令和6年11月30日（土）までに返送してください。
※ ご回答はインターネット（本調査専用webサイト（別紙、案内状をご参照ください））でも可能です。
（URL:　　ID:　　パスワード:　　）

1. 事業所名称及び所在地	〒●●●−●●●● ●●県●●市●●●●　●−● ●●●ビル 株式会社　●●●●●●　　●●担当者様
法人番号	X X X X X X X X X X X X X
2. 民営・公営の区分（該当番号に☑）	民営の事業所（右記以外）：☐1　／　国又は地方公共団体の事業所：☐2

3. 企業全体の常用労働者数 同一企業（会社）に属する全ての事業所を含む（該当番号に☑）	1,000人以上	500～999人	100～499人	30～99人	5～29人
	☐1	☐2	☐3	☐4	☐5
4. 貴事業所の主な生産品の名称又は事業の内容	（主なものとは、総収入の最も多いものです）				
5. 記入担当者氏名及び連絡先	担当者名 Tel E-mail　　@				

事業所コード	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	産業分類コード	X	X

○この調査は、事業所（雇用保険適用事業所）を単位として行います。
『3. 企業全体の常用労働者数』以外の回答は、企業全体分ではなく貴事業所分のみについて記入してください。

6. 貴事業所の雇用保険被保険者数（令和6年9月末日現在）

雇用保険被保険者数	千			人

雇用保険被保険者数	
5人以上	4人以下

→ 質問は以上です。

7. 貴事業所で雇用する外国人労働者の有無（令和6年9月末日現在）
◎外国人労働者は、外国人雇用状況届の対象となる労働者の有無についてご回答ください（あてはまるもの1つだけ☑）。

雇用している	雇用していない
☐1	☐2

→ 質問は以上です。

8. 貴事業所での労働者の活用について

(1)貴事業所における外国人労働者の採用の方針について教えてください（あてはまるものすべてに☑）。

☐ 1. 貴事業所が求める日本語レベルを満たせば採用する
☐ 2. 貴事業所が求める技能レベルを満たせば採用する
☐ 3. 貴事業所が海外展開等を行う国・地域と合致すれば採用する
☐ 4. 日本人の求人応募がなければ採用する
☐ 5. 特定の職種や専門分野に絞って採用する
☐ 6. 新規学卒者を中心に採用する
☐ 7. 長期雇用が見込まれる外国人を中心に採用する
☐ 8. 在留期間の更新に上限が決められた外国人（特定技能等）を中心に採用する
☐ 9. その他（具体的に:　　）
☐ 10. わからない
☐ 11. 特にない

(2)貴事業所で、(i)外国人労働者を雇用する理由、及び(ii)外国人労働者の雇用に関する課題について、それぞれのお考えを教えてください。
（それぞれ、あてはまるものすべてに☑）

(i) 外国人労働者を雇用する理由

☐ 1. 労働力不足の解消・緩和のため
☐ 2. 日本人と同等またはそれ以上の活躍を期待して
☐ 3. 事業所の国際化、多様性の向上を図るため
☐ 4. 技術力の向上・確保、新製品の開発のため
☐ 5. 日本人にはない知識、技術の活用を期待して
☐ 6. 事業所の他の外国人労働者の支援・管理能力向上を期待して
☐ 7. 外国人向けの商品・サービスの展開を図るため
☐ 8. 海外現地法人、海外取引先との関係構築や海外の人材育成のため
☐ 9. 海外販路の新規開拓等による海外取引の拡大を図るため
☐ 10. 人件費が割安なため（労務コストの効率化）
☐ 11. 職業紹介事業者に勧められたから
☐ 12. 従業員や知人に紹介されたから
☐ 13. その他（具体的に:　　）
☐ 14. わからない
☐ 15. 特にない

(ii)外国人労働者の雇用に関する課題

☐ 1. ニーズにあう人材からの応募がない
☐ 2. 外国人労働者を採用するための情報やネットワークが限られている
☐ 3. 日本語能力等のためにコミュニケーションが取りにくい
☐ 4. 文化、価値観、生活習慣等の違いによるトラブルがある
☐ 5. 期待したほどの能力を発揮できない
☐ 6. 受け入れた職場での負担が大きい
☐ 7. 採用や人事管理のノウハウがない
☐ 8. 離職・転職が懸念される、定着しない
☐ 9. 生活環境の整備にコストがかかる
☐ 10. 採用・定着にコストがかかる
☐ 11. 在留資格申請等の事務負担が面倒・煩雑
☐ 12. 入国審査、在留資格制度が分かりづらい
☐ 13. 在留資格によっては在留期間の上限がある
☐ 14. 在留資格によっては任せられる業務が限定される
☐ 15. その他（具体的に:　　）
☐ 16. わからない
☐ 17. 特にない

→ 8. (3)にお進みください。

SAMPLE

(3)貴事業所における人員の過不足状況を教えてください（職業別にそれぞれ、あてはまるもの1つだけ☑）。
（注）日本人、外国人を問わずご回答ください。

	おおいに過剰	やや過剰	適当	やや不足	おおいに不足	対象者がいない
管理的職業従事者	□1	□2	□3	□4	□5	□6
専門的・技術的職業従事者	□1	□2	□3	□4	□5	□6
事務従事者	□1	□2	□3	□4	□5	□6
販売従事者	□1	□2	□3	□4	□5	□6
サービス職業従事者	□1	□2	□3	□4	□5	□6
保安職業従事者	□1	□2	□3	□4	□5	□6
農林漁業従事者	□1	□2	□3	□4	□5	□6
生産工程従事者	□1	□2	□3	□4	□5	□6
輸送・機械運転従事者	□1	□2	□3	□4	□5	□6
建設・採掘従事者	□1	□2	□3	□4	□5	□6
運搬・清掃・包装等従事者	□1	□2	□3	□4	□5	□6

9. 貴事業所で雇用する常用労働者数（令和6年9月末日現在）

◎常用労働者は、労働者のうち「期間を定めずに雇われている労働者」または「1か月以上の期間を定めて雇われている労働者」をいいます。

貴事業所で雇用する常用労働者の在留資格別の人数を記入してください。

在留資格	千			人	在留資格	千			人	在留資格	千			人
01 教授					11 技術・人文知識・国際業務					21 文化活動				
02 芸術					12 企業内転勤					22 短期滞在				
03 宗教					13 介護					23 留学				
04 報道					14 興行					24 研修				
05 高度専門職					15 技能					25 家族滞在				
06 経営・管理					16 特定技能1号					26 特定活動				
07 法律・会計業務					17 特定技能2号					27 永住者				
08 医療					18 技能実習1号					28 日本人の配偶者等				
09 研究					19 技能実習2号					29 永住者の配偶者等				
10 教育					20 技能実習3号					30 定住者				

外国人常用労働者数計	A 千	人

日本人常用労働者数計	B 千	人

10. 調査対象労働者の抽出

9. で回答した貴事業所の外国人常用労働者数から、調査対象労働者数の設定をお願いします。
（外国人常用労働者（11）・日本人常用労働者（12）の調査対象となります。）

外国人常用労働者数（A）が**10人以上**の場合

調査対象労働者数	
外国人常用労働者	日本人常用労働者
a 10 人	b 10 人（※）
11.の対象者数	12.の対象者数

外国人常用労働者数（A）が**9人以下**の場合

調査対象労働者数	
外国人常用労働者	日本人常用労働者
a 外国人常用労働者（A）の数	b 外国人常用労働者（A）の数 （※）
11.の対象者数	12.の対象者数

（※）調査対象の外国人常用労働者数より少ない場合は、日本人常用労働者全員の数

例） 外国人常用労働者数20人、日本人常用労働者数が25人の事業所
⇒調査対象労働者数：外国人常用労働者数10人、日本人常用労働者数10人

外国人常用労働者数20人、日本人常用労働者数が8人の事業所
⇒調査対象労働者数：外国人常用労働者数10人、日本人常用労働者数8人

外国人常用労働者数8人、日本人常用労働者数が25人の事業所
⇒調査対象労働者数：外国人常用労働者数8人、日本人常用労働者数8人

外国人常用労働者数8人、日本人常用労働者数が4人の事業所
⇒調査対象労働者数：外国人常用労働者数8人、日本人常用労働者数4人

11. と 12. にお進みください。

SAMPLE

（別添１）

1枚目

11. 雇用する外国人常用労働者の属性

◎10 で設定した外国人抽出労働者数【aの人数】をもとに、記入要領に沿って選んだ外国人常用労働者について記入してください。

※また、選んだ外国人常用労働者に対して、下表で回答した「個人一連番号」と同じ番号の「労働者調査票」をお渡しください。

		A101	A102	A103	A104	A105
(a) 個人一連番号						
(b) 在留資格 〔記入要領から番号を記入してください。〕						
(c) 性 〔あてはまるもの1つだけ☑〕	1 男	□1	□1	□1	□1	□1
	2 女	□2	□2	□2	□2	□2
(d) 年齢 〔9月末日現在の満年齢を記入してください。〕		歳	歳	歳	歳	歳
(e) 最終学歴 〔あてはまるもの1つだけ☑〕	1 中学	□1	□1	□1	□1	□1
	2 高校	□2	□2	□2	□2	□2
	3 専門学校	□3	□3	□3	□3	□3
	4 高専・短大	□4	□4	□4	□4	□4
	5 大学	□5	□5	□5	□5	□5
	6 大学院	□6	□6	□6	□6	□6
	7 その他	□7	□7	□7	□7	□7
(f) 就業形態 〔あてはまるもの1つだけ☑〕	1 一般	□1	□1	□1	□1	□1
	2 短時間	□2	□2	□2	□2	□2
(g) 雇用形態 〔あてはまるもの1つだけ☑〕	正社員・正職員 1 期間の定め「無」	□1	□1	□1	□1	□1
	正社員・正職員 2 期間の定め「有」	□2	□2	□2	□2	□2
	上記以外 3 期間の定め「無」	□3	□3	□3	□3	□3
	上記以外 4 期間の定め「有」	□4	□4	□4	□4	□4
(h) 厚生年金への加入 〔あてはまるもの1つだけ☑〕	1 加入している	□1	□1	□1	□1	□1
	2 加入していない（加入要件を満たさない）	□2	□2	□2	□2	□2
	3 加入していない（社会保障協定により免除）	□3	□3	□3	□3	□3
	4 加入していない（その他の理由）	□4	□4	□4	□4	□4
(i) 貴企業における勤続年数 〔1年未満の端数は切り捨ててください。〕		年	年	年	年	年
(j) 役職 〔記入要領から番号を記入してください。〕						
(k) 職種 〔記入要領から番号を記入してください。〕						
(l) 9月の実労働日数 〔1日の労働時間が1時間でも、実労働日数1日として数えてください。〕		日	日	日	日	日
(m) 9月の所定内実労働時間数 〔30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。〕		時間	時間	時間	時間	時間
(n) 9月の超過実労働時間数 〔30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。〕		時間	時間	時間	時間	時間
(o) きまって支給する現金給与額（9月分） 9月分として算定された給与（税込み）で、超過労働給与額、通勤手当、精皆勤手当、家族手当等を含みます。1か月を超え、3か月以内の期間で算定されるものも含みます。		百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円
(p) (o)のうち超過労働給与額 時間外手当、深夜手当、休日手当、宿日直手当等		千 円	千 円	千 円	千 円	千 円
(q) 昨年1年間の賞与、期末手当等特別給与額 賞与、期末手当等の年間の支給額であり、毎月支給されるものは含みません。		百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円
備考（以下について記入してください。） ・同じ個人一連番号の「労働者調査票」または「労働者調査ご案内」への配布の確認（□にレ点） ・事業所で記入対象労働者を識別できる番号等 ・記入内容が特異な場合は、その理由		配布確認 □	配布確認 □	配布確認 □	配布確認 □	配布確認 □

SAMPLE

（別添１）

11. 雇用する外国人常用労働者の属性（続紙）

2枚目

◎10 で設定した外国人抽出労働者数【aの人数】をもとに、記入要領に沿って選んだ外国人常用労働者について記入してください。

※また、選んだ外国人常用労働者に対して、下表で回答した「個人一連番号」と同じ番号の「労働者調査票」をお渡しください。

			A106	A107	A108	A109	A110
(a) 個人一連番号							
(b) 在留資格 〔記入要領から番号を記入してください。〕							
(c) 性 〔あてはまるもの1つだけ☑〕		1 男	□1	□1	□1	□1	□1
		2 女	□2	□2	□2	□2	□2
(d) 年齢 〔9月末日現在の満年齢を記入してください。〕			歳	歳	歳	歳	歳
(e) 最終学歴 〔あてはまるもの1つだけ☑〕		1 中学	□1	□1	□1	□1	□1
		2 高校	□2	□2	□2	□2	□2
		3 専門学校	□3	□3	□3	□3	□3
		4 高専・短大	□4	□4	□4	□4	□4
		5 大学	□5	□5	□5	□5	□5
		6 大学院	□6	□6	□6	□6	□6
		7 その他	□7	□7	□7	□7	□7
(f) 就業形態 〔あてはまるもの1つだけ☑〕		1 一般	□1	□1	□1	□1	□1
		2 短時間	□2	□2	□2	□2	□2
(g) 雇用形態 〔あてはまるもの1つだけ☑〕	正社員・正職員	1 期間の定め「無」	□1	□1	□1	□1	□1
		2 期間の定め「有」	□2	□2	□2	□2	□2
	上記以外	3 期間の定め「無」	□3	□3	□3	□3	□3
		4 期間の定め「有」	□4	□4	□4	□4	□4
(h) 厚生年金への加入 〔あてはまるもの1つだけ☑〕		1 加入している	□1	□1	□1	□1	□1
		2 加入していない（加入要件を満たさない）	□2	□2	□2	□2	□2
		3 加入していない（社会保障協定により免除）	□3	□3	□3	□3	□3
		4 加入していない（その他の理由）	□4	□4	□4	□4	□4
(i) 貴企業における勤続年数 〔1年未満の端数は切り捨ててください。〕			年	年	年	年	年
(j) 役職 〔記入要領から番号を記入してください。〕							
(k) 職種 〔記入要領から番号を記入してください。〕							
(l) 9月の実労働日数 〔1日の労働時間が1時間でも、実労働日数1日として数えてください。〕			日	日	日	日	日
(m) 9月の所定内実労働時間数 〔30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。〕			時間	時間	時間	時間	時間
(n) 9月の超過実労働時間数 〔30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。〕			時間	時間	時間	時間	時間
(o) きまって支給する現金給与額（9月分） 9月分として算定された給与（税込み）で、超過労働給与額、通勤手当、精皆勤手当、家族手当等を含みます。1か月を超え、3か月以内の期間で算定されるものも含みます。			百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円
(p) (o)のうち超過労働給与額 時間外手当、深夜手当、休日手当、宿日直手当等			千 円	千 円	千 円	千 円	千 円
(q) 昨年1年間の賞与、期末手当等特別給与額 賞与、期末手当等の年間の支給額であり、毎月支給されるものは含みません。			百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円
備考（以下について記入してください。） ・同じ個人一連番号の「労働者調査票」または「労働者調査ご案内」への配布の確認（□にレ点） ・事業所で記入対象労働者を識別できる番号等 ・記入内容が特異な場合は、その理由			配布確認 □	配布確認 □	配布確認 □	配布確認 □	配布確認 □

SAMPLE

（別添１）

12. 雇用する日本人常用労働者の属性

1枚目

◎10 で設定した日本人抽出労働者数【bの人数】をもとに、記入要領に沿って選んだ日本人常用労働者について記入してください。

※日本人常用労働者については、「労働者調査票」はありません。また、(b)，(h)は回答不要のため省略しています。

(a) 個人一連番号		B101	B102	B103	B104	B105
(c) 性 〔あてはまるもの1つだけ☑〕	1 男	☐1	☐1	☐1	☐1	☐1
	2 女	☐2	☐2	☐2	☐2	☐2
(d) 年齢 〔9月末日現在の満年齢を記入してください。〕		歳	歳	歳	歳	歳
(e) 最終学歴 〔あてはまるもの1つだけ☑〕	1 中学	☐1	☐1	☐1	☐1	☐1
	2 高校	☐2	☐2	☐2	☐2	☐2
	3 専門学校	☐3	☐3	☐3	☐3	☐3
	4 高専・短大	☐4	☐4	☐4	☐4	☐4
	5 大学	☐5	☐5	☐5	☐5	☐5
	6 大学院	☐6	☐6	☐6	☐6	☐6
	7 その他	☐7	☐7	☐7	☐7	☐7
(f) 就業形態 〔あてはまるもの1つだけ☑〕	1 一般	☐1	☐1	☐1	☐1	☐1
	2 短時間	☐2	☐2	☐2	☐2	☐2
(g) 雇用形態 〔あてはまるもの1つだけ☑〕	正社員・正職員 1 期間の定め「無」	☐1	☐1	☐1	☐1	☐1
	正社員・正職員 2 期間の定め「有」	☐2	☐2	☐2	☐2	☐2
	上記以外 3 期間の定め「無」	☐3	☐3	☐3	☐3	☐3
	上記以外 4 期間の定め「有」	☐4	☐4	☐4	☐4	☐4
(i) 貴企業における勤続年数 〔1年未満の端数は切り捨ててください。〕		年	年	年	年	年
(j) 役職 〔記入要領から番号を記入してください。〕						
(k) 職種 〔記入要領から番号を記入してください。〕						
(l) 9月の実労働日数 〔1日の労働時間が1時間でも、実労働日数1日として数えてください。〕		日	日	日	日	日
(m) 9月の所定内実労働時間数 〔30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。〕		時間	時間	時間	時間	時間
(n) 9月の超過実労働時間数 〔30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。〕		時間	時間	時間	時間	時間
(o) きまって支給する現金給与額（9月分） 9月分として算定された給与（税込み）で、超過労働給与額、通勤手当、精皆勤手当、家族手当等を含みます。 1か月を超え、3か月以内の期間で算定されるものも含みます。		百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円
(p) (o)のうち超過労働給与額 時間外手当、深夜手当、休日手当、宿日直手当等		千 円	千 円	千 円	千 円	千 円
(q) 昨年1年間の賞与、期末手当等特別給与額 賞与、期末手当等の年間の支給額であり、毎月支給されるものは含みません。		百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円
備考（以下について記入してください。） ・事業所で記入対象労働者を識別できる番号等 ・記入内容が特異な場合は、その理由						

SAMPLE

（別添１）

12. 雇用する日本人常用労働者の属性（続紙）

2枚目

◎10 で設定した日本人抽出労働者数【bの人数】をもとに、記入要領に沿って選んだ日本人常用労働者について記入してください。

※日本人常用労働者については、「労働者調査票」はありません。また、(b)，(h)は回答不要のため省略しています。

(a) 個人一連番号		B106	B107	B108	B109	B110
(c) 性 〔あてはまるもの1つだけ☑〕	1 男	□1	□1	□1	□1	□1
	2 女	□2	□2	□2	□2	□2
(d) 年齢 〔9月末日現在の満年齢を記入してください。〕		歳	歳	歳	歳	歳
(e) 最終学歴 〔あてはまるもの1つだけ☑〕	1 中学	□1	□1	□1	□1	□1
	2 高校	□2	□2	□2	□2	□2
	3 専門学校	□3	□3	□3	□3	□3
	4 高専・短大	□4	□4	□4	□4	□4
	5 大学	□5	□5	□5	□5	□5
	6 大学院	□6	□6	□6	□6	□6
	7 その他	□7	□7	□7	□7	□7
(f) 就業形態 〔あてはまるもの1つだけ☑〕	1 一般	□1	□1	□1	□1	□1
	2 短時間	□2	□2	□2	□2	□2
(g) 雇用形態 〔あてはまるもの1つだけ☑〕	正社員・正職員 1 期間の定め「無」	□1	□1	□1	□1	□1
	正社員・正職員 2 期間の定め「有」	□2	□2	□2	□2	□2
	上記以外 3 期間の定め「無」	□3	□3	□3	□3	□3
	上記以外 4 期間の定め「有」	□4	□4	□4	□4	□4
(i) 貴企業における勤続年数 〔1年未満の端数は切り捨ててください。〕		年	年	年	年	年
(j) 役職 〔記入要領から番号を記入してください。〕						
(k) 職種 〔記入要領から番号を記入してください。〕						
(l) 9月の実労働日数 〔1日の労働時間が1時間でも、実労働日数1日として数えてください。〕		日	日	日	日	日
(m) 9月の所定内実労働時間数 〔30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。〕		時間	時間	時間	時間	時間
(n) 9月の超過実労働時間数 〔30分以上は切り上げ、30分未満は切り捨ててください。〕		時間	時間	時間	時間	時間
(o) きまって支給する現金給与額（9月分） 9月分として算定された給与（税込み）で、超過労働給与額、通勤手当、精皆勤手当、家族手当等を含みます。 1か月を超え、3か月以内の期間で算定されるものも含みます。		百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円
(p) (o)のうち超過労働給与額 時間外手当、深夜手当、休日手当、宿日直手当等		千 円	千 円	千 円	千 円	千 円
(q) 昨年1年間の賞与、期末手当等特別給与額 賞与、期末手当等の年間の支給額であり、毎月支給されるものは含みません。		百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円	百万 千 円
備考（以下について記入してください。） ・事業所で記入対象労働者を識別できる番号等 ・記入内容が特異な場合は、その理由						

SAMPLE